

中国国家図書館の発展と未来

中国国家図書館 副館長
張志清

中国国家図書館は国家の総書庫であり、全国書誌センター、国家古籍保存センターでもある。国内外の文献の収蔵と保護の職責を果たし、全国の文献保護事業の指導・調整を行う。中央及び国家指導機関、社会組織及び公衆のために文献情報やレファレンスサービスを提供する。図書館学理論と図書館事業の発展的研究を推進し、全国の図書館事業の指導を行う。対外的には、文化に関わる交流組織の役割を果たし、IFLA 及び関連の国際組織に参加し、国内外の図書館の交流及び協力事業を展開する。

ここ数年来、図書館のリーダーシップとスタッフの努力の下、国家図書館の基盤業務は着実に前進し、サービス能力は持続して増強し、公共文化サービスにおける地位と影響力は、著しく上昇した。

——国家図書館本館北区庁舎が落成、正式開館し、利用者の受入れを行った。庁舎の総面積は 25 万平方メートルまで増加し、一躍世界の国立図書館中第 3 位となった。利用者の受入れ能力は 2 倍になり、閲覧環境に明らかな改善を見た。

——国家デジタル図書館プロジェクトの主要な構築業務は完遂した。ソフトウェア、ハードウェアのインフラは著しく改善され、デジタル図書館の標準規範体系の基礎が構築され、技術システムは日々進歩し、サービスアーキテクチャーと業務プロセスの基礎が形成され、デジタル図書館の技術に基づき、多くの革新的サービスが公衆へ提供された。

——館が所蔵する文献情報資源の数量は増加を続けた。2010年までに、収蔵文献の総量は2,900万冊（件）、デジタル資源の総量は480TBに達し、書誌データの総量は745万件となり、伝統的な文献資料とデジタル資源が結合した館の収蔵体系の基礎を形成するにいたった。

——「良いサービスで館を動かす」¹戦略の実施は、サービス業務を着実に前進させ、来館サービスと遠隔サービスが補完し合うサービスモデル、統合的・総合的な階層別サービス体系の基礎を構築した。年間の平均来館利用者は420万人を超え、文献の流通は2,060万冊、webサイトのアクセス人数はのべ3.4億人、各種レファレンス回答は36万件に達した。公衆のためのサービスを行うと同時に、特別なグループに対するサービスにも力を注いだ。2008

¹中国国家図書館の三大戦略「人才兴馆，科技强馆，服务立馆」のひとつ。「人材により図書館を繁栄させ、先端テクノロジーにより館を強くし、良いサービスで館を動かす」。

年10月、中国視覚障害者デジタル図書館が開館し、最大範囲の特別利用者グループをカバーすることが可能になった。情報のバリアフリー化処理後、視覚障害利用者は読み上げソフトを利用し、国家図書館が入念に準備した電子図書、音楽鑑賞、オンライン講座、ニュース動向、新収蔵書速報などの豊富なデジタル資源を無料で聞くことができるようになった。2010年5月、中国国家図書館少年児童図書館が開館し、6歳から15歳までの学齢の児童に向けて、図書館が解放された。館内の図書資料には、国家図書館が精選した古典的な子供向けの図書、最近出版された雑誌、新聞等の読物やレファレンスブック2.2万冊（件）余りが含まれる。同時に「国家デジタル図書館子どもデジタル図書館」を開館し、未成年者のために、web上に緑色閲覧プラットフォーム²を提供した。

—国家の重点的文化プロジェクトに主動的な立場で参与・参画し、公共の文化サービスシステムの構築における影響力をさらに明示した。中華善本再生プロジェクト³、中華古籍保護計画⁴、県級デジタル図書館推進計画⁵等は、際立つ社会的影響をもたらした。

—国内外に業務上の交流と協力関係を展開し、システム、地域を横断する図書館協力体制の基礎を構築し、IFLA/PAC中国センターやIFLA中国語センターを建設し、内外図書館界における影響力を向上させた。

—近年の事業展開を経て、国家図書館は中国の社会経済の成長に伴い、重要な発展の機会に遭遇している。来たる5年以内に、文献資源総庫の建設に力を注ぎ、デジタル図書館の成果物の全国での利用拡大を推し進め、技術の発展変化に基づきサービスの範囲を絶えず広げ、サービス水準を向上させ、社会教育機能と専門的業界サービス機能を拡張する。全民族の文明素養を高めるため、科学的発展を進め、経済の成長方式を変化させ、文化の大発展・大繁栄を推し進め、公共文化サービスシステムの構築を促進させ、文化の「走出去」戦略⁶への貢献を行う。

—国家文献資源総庫⁷を建設し、文献情報保障の能力を高める。文献資源総庫の建設に必要な各種の文献情報資源を収集するため、収蔵文献を年平均80万冊（件）以上、デジタル資源を年平均100TB以上増加させる。

²原文は「绿色阅读平台」。「綠色」は、「エコ」「環境にやさしい」「クリーン」のようなイメージを持たれている。「綠色産品」エコ製品・エコプロダクト。「綠色企業」エコロジー企業。「綠色建築」健康住宅。「綠色汽車」低公害車、エコカー。「綠色奧運」グリーンオリンピック等。「綠色閲覧平台」は、インストール時にレジストリやシステムに書き込みをしない、(PC環境にとって)エコな閲覧プラットフォームを指すものと思われる。

³ 2002年から文化部、財政部が共同で実施したプロジェクト。学術振興のため、国内の唐、宋、元代の稀観書を精選の上、複製し、学術機関に配布した。カレントアウェアネスに関連記事がある。

<http://current.ndl.go.jp/node/8885>

⁴ 2007年から起動した古典籍保存プロジェクト。

⁵ 文化部実施のプロジェクト。全国文化共享プロジェクト等のバーチャルプラットフォームを利用し、県級図書館に資料、サービスを提供する。2010年開始。

⁶ 中国政府が2000年ごろから推進している企業の海外進出政策。

⁷ 12次5カ年計画（2011-2015）期間中の建設を目指している。後述の「专题知识库（主題知識ナレッジベース）」、「国家文献战略储备库（国家文献戰略保存庫）」も同じく12次5カ年計画期間中の建設を目指している。

——国家文献資源の総目を作成し、文献情報資源の統合と提供を進める。各種メタデータとオブジェクトデータを全面的に統合し、文献情報資源を統合、表示、発見できるプラットフォームを構築することで、文献表示能力を一層向上させる。戦略的、歴史的、文化的価値を備えた特色ある文献を選択し、優れたコレクションと利用者の知識需要を結び付けて、セマンティックリレーション及び知識組織化のためのツールを開発し、各種情報資源を深く掘り起こす。多種多様な媒体・形式・類型の、異種のもものが散在した情報資源の多次元的統合、高レベルでの情報提供に重点を置いて、知識の連関を再現し、有機的な知識ネットワークを形成することで、体系化、特色化された特定主題のナレッジベース群を構築する。

——立法・政策決定サービスを強化し、多層的な立法・政策決定サービス業務ネットワークを構築する。立法・政策決定サービスのための文献情報収集・研究・サービスセンターを建設する。

——2011年から、国家デジタル図書館推進プロジェクトを開始した。このプロジェクトでは、国のデジタル図書館を中心とし、地方の各行政単位レベルのデジタル図書館を中継点として、全国のデジタル図書館をカバーするバーチャルネットワークを構築、多層分散型のデジタル図書館資源データベース群を構築し、デジタル資源の有効な保障体系を全国規模で形成する。そして、インターネット、モバイル通信、ラジオやテレビ等の放送ネットワークをチャンネルとし、各レベルの公共図書館及び携帯電話、デジタルテレビ、モバイルテレビ等の新興メディアの助けを借りて、公衆に多層的で多様化、専門化したデジタル図書館サービスを提供し、新しいメディアに基づいた図書館サービスの新たな業態を創り出す。同時に、デジタル資源の管理制度と標準規範体系の構築プロジェクト、デジタル資源の特定主題ナレッジベース構築プロジェクト及びデジタル図書館体験地区建設プロジェクトを展開する。

——社会教育を担う役割を発展させ、図書館を魅力ある公共の文化の場とする。図書館の物理的空間、その他の社会空間、インターネット、モバイル端末等の各種ルートを利用して、社会教育を担う役割をより一層発展させ、展覧会、講座、研修等、多彩な文化活動を行うことによって、公衆の多元化した精神文化面での要求を満足させる。図書館を市民教育のための生涯学校とし、魅力ある公共の文化の場とする。このほかに、典籍博物館（著名人に関する専門図書館⁸、館史展示室を含む）の建設を計画し、より良い環境で文献を展示し、大衆を教育し、社会に奉仕していく。

——「国家文献戦略保存庫」を建設し、収蔵資源の長期戦略的保存を実現する。国家の情報資源の戦略的保存の観点から、国家図書館が所蔵する各種保存用文献の遠隔地における戦略的保存、及び収蔵デジタル資源の災害に備えた遠隔地におけるバックアップについて研究、解決し、国家レベルの文献資源保障センターを建設する。

——「中華古典籍保護計画」を推進し、我が国の古典籍保護事業の水準を全面的に引き

⁸原文は「名人専蔵館」。陳垣の「名人専蔵館」がすでに存在する。

上げる。古典籍の全面的調査及び実情の把握を核として、人材育成と科学実験に重点を置き、全面的に古典籍保護事業を推進して、国家レベルの古典籍修復センター及び中国語文献保存保護研究センターを建設する。同時に中華民国時代及び革命史に関する文献の保護プロジェクトを展開し、それらの文献の脱酸保護と複製利用を進める。

——対外協力と交流を強化する。国家を代表して関連する対外文化協定を執行し、対外文化交流を展開する国家図書館の役割を發揮して、国家図書館の国際的影響力を強める。IFLA 等の組織の事業及び活動に積極的に参与し、IFLA 中国語センター及び IFLA/PAC 中国センターとしての国家図書館の役割を發揮する。国際図書館界における二国間及び多国間での業務の検討活動や交流活動を積極的に組織化し、参与し、実質的な内容の国際協力プロジェクトを追求していく。国家の文化「走出去」戦略に合わせ、在外中国文化センターに図書館を建設して、中国の優れた伝統文化を宣伝し、我が国の近代化が達成されたことを示す。

中国国家図書館はその 100 年近い歴史の中で、文明発揚、知識の普及、社会奉仕といった理念を受けて、たゆまぬ探究、奮闘、革新を続け、無私の奉仕の精神を持ち続けて、人類の文明と社会の進歩の促進に重要な貢献を果たしてきた。これからの新たな行程においては、深い歴史的文化の積み重ねと、より細やかなサービスとより開放的な姿勢をもって、誠心誠意努力し、日々精進し、新たな輝かしい歴史を記していく。